

## SABAKIトーナメント出場報告

中村陽彩くん、木村陽斗くん

空手の芦原会館南関支部・木村道場所属(A-lifeなんかん)の中村陽彩くん(相谷)と木村陽斗くん(関町)が12月15日、佐藤町長と大里教育長を表敬訪問し、第12回芦原会館四国大会SABAKIトーナメントへの出場を報告しました。

2人は平成29年3月に行われた同トーナメントの九州大会に出場し、中村くんは優勝、木村くんは準優勝に輝き、四国大会への出場権をつかみました。

なお、中村くんは同大会で優勝という結果を残し、3月に東京都で行われる全国大会への出場権を手に入れました。また、技術が優れている人に授与されるサバキテクニク賞も受賞しました。

▶表敬訪問した植田さん(左から2番目)と窪田さん(右から2番目)



## 九州小学生ソフトテニス選手権大会出場報告

窪田杏菜さん、植田朱理さん

窪田杏菜さん(一小6年)、植田朱理さん(二小6年)が12月14日、佐藤町長を表敬訪問。沖縄県の総合運動公園庭球場で12月16日から17日にかけて開催された第12回九州小学生ソフトテニス研修大会(団体)と第22回九州小学生ソフトテニス選手権大会への出場を報告しました。

2人は8月20日に県内で行われた熊本県小学生ソフトテニス選手権大会で2位に輝き、選手権大会への出場権を手に入れました。

2人は「1試合1試合、自分たちの力が発揮できるように頑張りたい」と述べると、佐藤町長は「テニスを楽しみ、そして絶対に負けない強い気持ちを持って頑張ってください」と激励しました。

▶表敬訪問した中村くん(右)と木村くん(左)



## 1粒1粒心を込めて

三小5年生がお米の販売

南関第三小学校(大木洋一郎校長)の5年生16人は12月16日、野菜畑でお米の販売を行いました。

この日は福山正英さん(相谷)の田んぼで田植えを行い、実った稲を手刈りし収穫したお米を、児童たちの手で販売。「南三5年の流れ星米(ヒノヒカリ)」という名前や米袋のパッケージ、集まったお金の使い道など、全て子どもたちが考えています。寒空の下、児童たちはなかなか売れない状況に苦戦しながらも「いらっしゃいませ」と声が枯れるほど大きな声で宣伝しました。

鶴那海さん(肥猪町)は「大変だったけれど、最後まで諦めずにお米を売ってよかった」と笑顔で話しました。



▶お客さんにお米を渡す児童たち

▶丁寧に土を被せる児童たち



## 豊かな海を守るために

二小6年生が植樹

町は12月16日、南関第二小学校(藤原伸作校長)の6年生17人と保護者を対象に、南関町ふれあい広場で植樹を行いました。

これは、豊かな海を守るために森の大切さを子どもたちに伝えるために開催。今回は2年前に種を植え成長したクヌギや榎の木、椎の木に加え他8種類の120本の木を、3班に分かれて植えました。児童たちは、手順を確認しながら優しい手つきで苗を植えていきました。

参加した児童からは「ポットと苗を外すのが大変だった」「大きく成長した姿が楽しみ」などの声が聞かれました。

## 新たな目標に挑戦

南関町生活研究グループ連絡協議会

南関町生活研究グループ連絡協議会(片山カツ子会長)は12月10日、南の関うから館で同協議会の50周年記念交流会を開催しました。

同協議会の会員数は現在30人。主に町内幼稚園や小学校の子どもたちに郷土料理の作り方などを教えています。当日、会場には町長や来賓など約50人が出席し、今までの活動報告や熊本県生活研究グループ連絡協議会の江村英子さんによる講演が行われました。また、町の野菜や米で作られた郷土料理の手作り弁当も振る舞われ、参加者は優しい味を楽しみました。

片山会長は「これからも古き良き伝統を受け継ぎながら新しいことに挑戦し、町の顔と言えるような郷土料理を作っていきたい」と想いを語りました。

▶活動報告を行う片山会長



## あなたたちが正解

二小で演劇教室

南関第二小学校(藤原伸作校長)は12月13日、ザ・ちゃぶ台の木内里美さん(大津町)を招き、同校音楽室で演劇教室を開催しました。

これは、演劇などの芸術に触れ、児童の表現力や主張力向上とともに、児童の健全育成を目的として全校児童を対象に開催。この日は4、5、6年生49人が参加し、全員でだるまさんが転んだなどを行いました。木内さんは遊びの中で「楽しいことが正解、あなたたちが正解。何かにとらわれず自分を見せてください」と語りかけ、自分を表現することの大切さや人を思いやる気持ちの重要性を伝えました。また、木内さんが80代のおばあちゃんを演じた一人演劇では楽器を使いながら語り、児童たちはその物語に引き込まれていました。

中村晴斗さん(久重)は「ゲームがとても楽しかった」と感想を述べました。

▶物語に引き込まれる児童たち



▶左から井上校長、笹原会長、佐藤町長、荒平教頭



## 優良PTA 文部科学大臣表彰

南関町第一小学校 PTA

南関第一小学校PTA(笹原清恵会長)は12月6日、優良PTA文部科学大臣表彰を受賞したことを佐藤町長に報告しました。

今回は、門松づくりや餅つき、どんどやなど保護者や職員、子どもも参加でき繋がりを大切にする活動が認められ、受賞となりました。

笹原会長は「今まで伝統的に続けてきた活動が認められて受賞できたことはとてもうれしく思う。保護者の理解と協力がなければできなかったことで、とても感謝している。今後も新しい意見を取り入れていくようにしたい」と話しました。

▶にがりやを舐めて苦味を体験する児童たち



## 豆腐そのものを味わう

第一小学校3年生

南関第一小学校(井上加寿子校長)は12月11日、(株)丸美屋(東健代表取締役)から福永哲也さんを迎え、総合的な学習の時間に豆腐作り体験を実施しました。

この日は3年生33人が参加。児童たちは、福永さんが用意した大豆「ふくゆたか」を使って、豆腐作りに挑戦。それぞれ班の中で役割分担し豆腐づくりを楽しみました。

また、福永さんから豆腐の語源やにがりの苦味体験も行われ、児童たちは苦味に驚いていました。豆腐ができあがると、あたたかく優しい豆腐そのものの味を楽しみました。大佐古結夏さん(関下)は「なめらかで甘くておいしい。いつも食べる豆腐とは違う」とにっこり。同様の取り組みが、二小、三小でも行われています。